

市議会10月定例会を開催

特集

いわき市議会十月定例会が、十月二十一日から十一月五日までの十六日間の会期で開催されました。内田市長は、初日の本会議で議案の審議に先立ち、市政運営への基本的な考え方を表明しました。その後、議会では、小・中学校屋内運動場長寿命化改修事業など、一般・特別会計を合わせて、総額五十五億九千六十五万五千円の補正予算案などが審議され、二十三議案が可決・同意されました。

なお、令和二年度決算関連の十九議案については、継続審査となりました。

市政運営への基本的な考え方

○新型コロナウイルス感染症への対応について

九月末で、まん延防止等重点措置が解除され、今後は「ゆるやかなアクセル」



となる経済対策の実行と

「確かなブレーキ」となる感染拡大防止対策の徹底の二つのバランスを取りながら、両輪でさまざまな取り組みを進めていかなければなりません。今後、想定される次の感染拡大、いわゆる「第六波」に向け、これまでの取り組みの検証や、先を見据えた対策の構築も含め、県との連携を図りながら、万全の備えに努めていきます。

○中長期的な課題について

一つ目は、若者の人口流出への対応です。進学や就職のために首都圏をはじめとした他県などに転出して、専門性を身に付けて本市に戻り、力を発揮して働いてもらえるような、若者の受け皿となる雇用の場を

確保することが必要です。

加えて、若者が地元で一流の学びを受けることができる高等教育の場を充実させることも必要です。国際教育研究拠点としっかり連携しながら、未来ある若者が地元に残ってもらえるような取り組みを進めていきます。

二つ目は、医師不足への対応です。まずは、診療科ごとに何人の医師が必要なのかをしっかりと分析し、県との連携の下、計画的かつ粘り強く、医師確保の取り組みを進めていきます。三つ目は、防災・減災の強化です。これまでの経験を教訓とし「災害死ゼロ」を実現する危機管理モデル都市を目指していきます。四つ目は、農林水産業の

担い手不足への対応です。

農業を志す若者が、地元の農家の方々と一緒になって実践経験を積むことができ、拠点を設置したいと考えています。そして、そこで学んだ若者が、本市の将来の農業を支えていくという好循環を生み出していきます。

五つ目は、未来を先取りする取り組みです。まず、グリーン社会の実現を目指す取り組みとして、カーボンニュートラルの一翼を担う次世代エネルギーの活用です。これまでも、水素や風力などに関する施策を積極的に導入してきましたが、エネルギーとともに発展してきた本市の強みを生かし、脱炭素の地域づくりに取り組んでいき

ます。

次に、スマート社会の実現を目指す取り組みです。デジタル技術の進展により、私たちの暮らしは大きく変わろうとしています。ウィズコロナ・アフターコロナを見据え、こうした新たな技術を積極的に活用し、デジタルトランスフォーメーションなどの取り組みを進めることで、行政や地域社会のさまざまな課題の解決につなげていきます。

中長期的な課題の主なものを申し上げましたが、これらを着実に積み重ねていくために、持続可能な行政運営などの行財政改革を進めるとともに、課題の一つ一つにしっかりと向き合い、解決に向かって取り組みを進めていきます。

補正予算の概要

安全かつ快適で良好な学習環境の実現に向けて、小・中学校の屋内運動場の長寿命化改修工事を実施するための経費や、防災体制のさらなる充実強化に向けて、高齢者施設を運営する事業者が非常用自家発電設備などを整備する際の費用の一部を補助するための経費を計上しました。

また、工業の振興および地域経済の活性化を目的として交付している工場等立

地奨励金や、コロナ禍において地方移住への関心が高まっている状況を踏まえ、本市へ移住される方に支援金を交付するための経費を計上しました。

さらには、新型コロナウイルス感染症対策として、室内の適切な換気を促すために、小・中学校の各教室に二酸化炭素濃度測定器を設置するための経費や、未就学児を育てる世帯を対象に、医師や看護師などによる「健康や医療に関する相談サービス」をオンライン

で二十四時間・三百六十五日提供するための経費などを計上しました。

主な議案

○工事請負契約について

施設の老朽化に加え、令和元年東日本台風による浸水被害を受けた小川支所について、災害復旧事業として建て替え整備を行うものです。

○川部財産区管理委員選任の同意を求めることについて

小野勝彦（再任）

主な補正予算

- ▶小・中学校屋内運動場長寿命化改修事業に係る経費＝4億6,205万7千円
- ▶工場等立地奨励金＝1億5,398万円
- ▶防災・減災等対策事業費（高齢者施設）補助金＝1億829万7千円
- ▶学校施設感染症対策支援事業に係る経費＝1,230万円
- ▶スマートライフ推進事業に係る経費＝380万円

令和3年度 技能功労者・優良技能者表彰

＝年齢は11月1日現在。50音順・敬称略＝

技能功労者

- ▷遠藤実(57)＝とび工 常磐白鳥町
- ▷榊田常男(75)＝畳工 後田町
- ▷佐藤公一(70)＝配管工 泉ヶ丘
- ▷細田廣道(66)＝電工 四倉町上仁井田
- ▷吉田英巳(56)＝石材加工 泉町

優良技能者

- ▷網掛透(48)＝調理師 内郷御厩町
- ▷志賀隆幸(54)＝畳工 平下神谷
- ▷志賀正人(52)＝電工 泉玉露
- ▷中村龍一(36)＝石材加工 錦町
- ▷西谷広明(50)＝造園工 錦町
- ▷星野清和(44)＝配管工 常磐下湯長谷町

明治安田生命保険相互会社との健康増進に関する連携協定を締結

市は、11月8日に、明治安田生命保険相互会社いわき支社と同協定を締結しました。

同協定に基づき、双方の資源を有効に活用し、市民の皆さんの健康づくりの推進のため、特定健康診査などの受診率向上や、がん・感染症対策、

推進に関する連携協定



緊密な相互連携と協働により取り組みを推進

その他の健康増進について、相互に連携を図りながら取り組んでいきます。

災害時等における緊急輸送及び物資拠点の運営等に関する協定を締結

市は、11月9日に、ヤマト運輸株式会社福島主管支店と同協定を締結しました。

同協定に基づき、災害時などには、相互協力により、大量の支援物資などの受け入れや仕分け、避難所などへの配送業務を一体的に行うことで、被災者に食料や生活必需品などを、これまで以上に迅速かつ安定的に供給します。



被災者の生活の安定や早期の生活再建を図るため協定を締結